

[担当教員]

末包伸吾(教授) 高麗憲志(高麗建築設計一級建築士事務所) 浅井保(助教)

[Teaching Assistant]

宇野耀士(A72) 延近佑澄(A72) 丁子紘亘(A72)

■課題概要

大学内での活動としての講義や演習・実習とは別に、ある一定の期間、空間を共にし、集中した活動や共通の目的をもって活動する場が求められている。この課題は、近畿圏の大学共通施設として位置づけ、セミナーや共同制作、スタジオ、社会との連携など学内では難しい様々な活動に対して自由で豊かな場を提供することを目的としている。

■計画敷地

計画敷地は、神戸市灘区山麓市街地に位置する灘丸山公園の土地を想定する。現在の公園用地の全部または一部をセミナーハウス用地として使い、敷地へのアプローチも南側の道路をそのまま利用するものとする。独自のアプローチを計画する場合は教員から指導をうけること。

■建築概要

建築施設の延べ面積は4,000㎡程度とし、階数・構造は自由とする。

■利用者

施設の利用者は主として大学生、大学院生、大学教員であり、15人単位(10人~20人)が6組宿泊でき、最大で150人の学生が共同で研修できる施設とする。また、指導教員や外来者が別に15人宿泊できる諸室を確保すること。

■提出図面

A1用紙にコンパクトにまとめること。

- ・全体配置図：1/500
- ・透視図/模型写真
- ・各階平面図、立面図、断面図：1/200 など



国土地理院 地理院地図 (https://maps.gsi.go.jp/) をもとに編集者作成
課題敷地



講評会の様子

景を紡ぐ物語

関川珠音

セミナーハウスに足を踏み入ると、窓越しに切り取られた景色が次々と現れ、階段を登るたびに視線の高さが変わり、新たな風景が広がる。時が流れ、ここを後にしても、目を閉じればここで過ごした思い出が鮮明に蘇る。視線が移ろう風景と静かな時間が、心に残る物語となる。

ダイアグラム

- ① 宿泊機能を有するパブリックスペースと研修機能を有するプライベートスペースが両立されるよう、それぞれで考える。
- ② 海から山を繋ぐ曲線をパブリックスペースの軸とし、それに交差する直線をプライベートスペースの軸とする。
- ③ 軸に沿ってボリュームを配置する。大パノラマを展開できる大きなボリュームを南に配置する。
- ④ 南から北に向かってレベルを上げていく。これにより、それぞれの空間から異なる景色を楽しむことができる。

構造システム『ダブルラチス梁構造』

六甲山の自然に囲まれた敷地に調和するよう、建築全体を木造で設計した。木の温もりや質感を活かしながら、周囲の風景と一体となる建築を目指した。大スパンが求められる食堂や創造スタジオなどの空間には「ダブルラチス梁構造」を採用し、木材の強度を最大限に活かした。

配置図兼屋根図

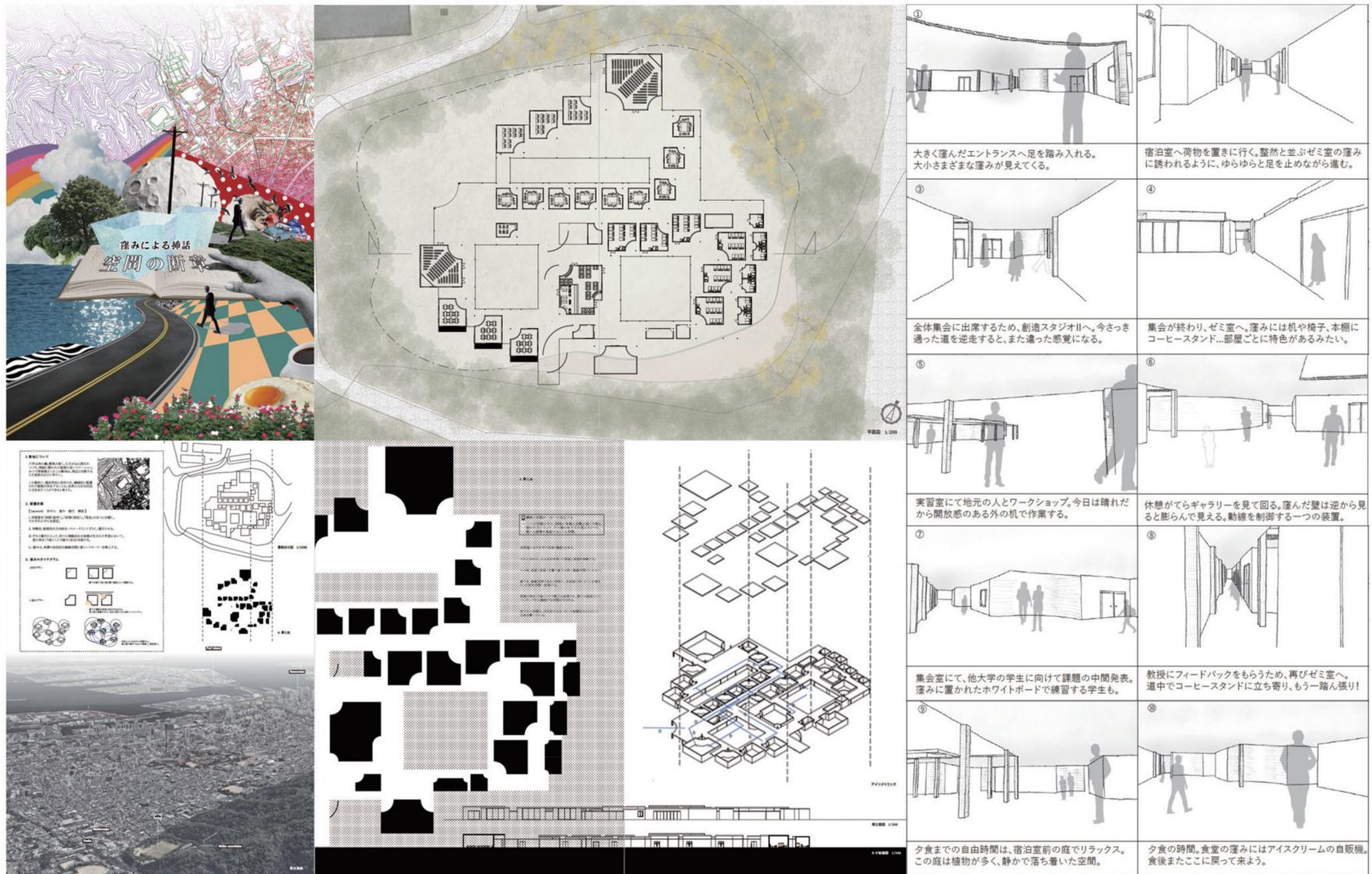
メインフロア平面図

- a. エントランス
- b. 事務室
- c. 管理入室
- d. 食堂
- e. 厨房
- f. イベントロビー
- g. 倉庫
- h. 学生宿泊室
- i. 一般宿泊室
- j. 共同浴室
- k. 露天風呂
- l. 洋館
- m. ゼミ室
- n. 図書
- o. カフェスペース
- p. テラス
- q. 実習室
- r. 講義・集合空間
- s. 創造スタジオ I
- t. 創造スタジオ II

窪みによる挿話 空間の断章

宮本泰幸

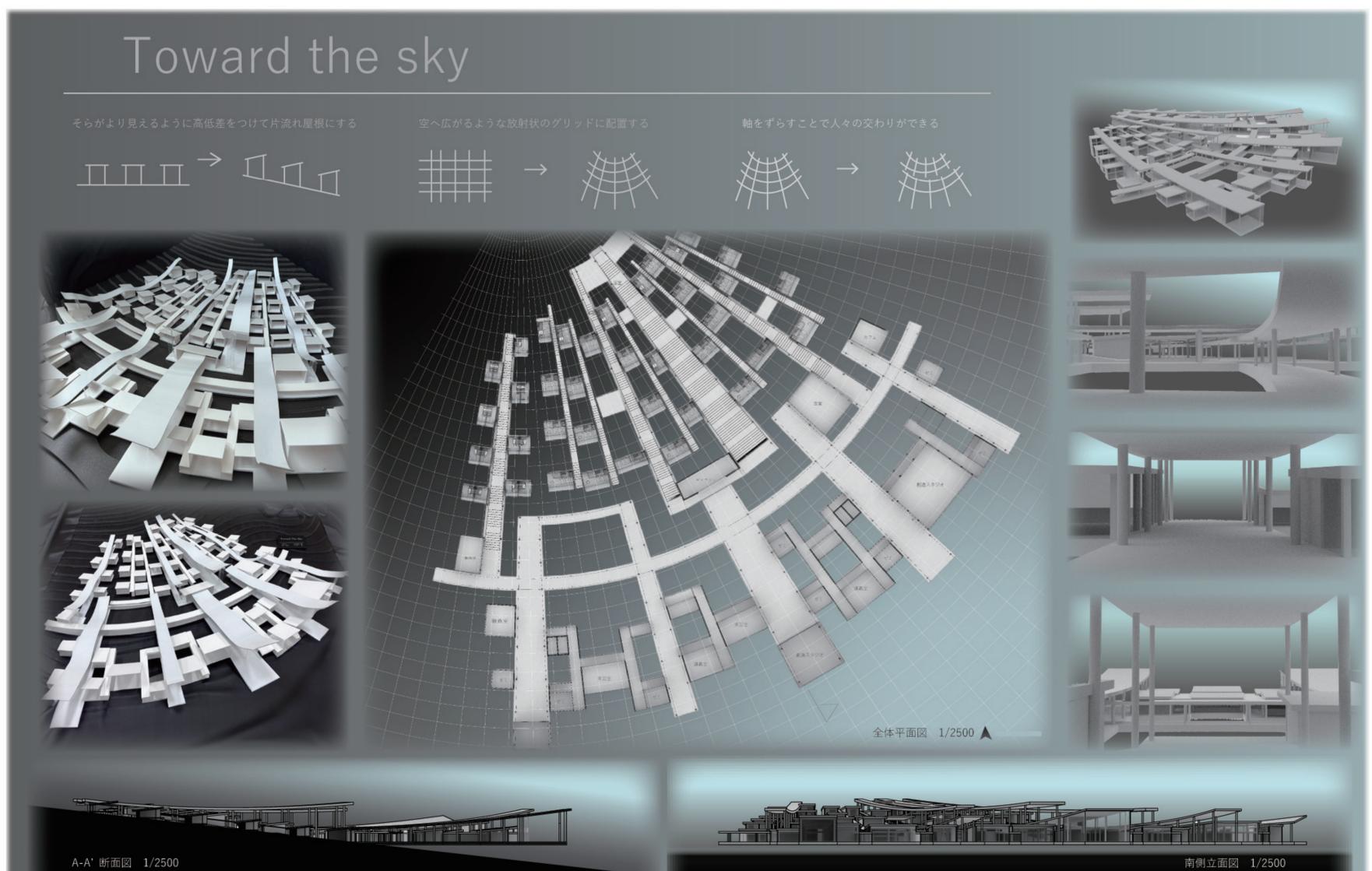
六甲山地の麓。標高が高く、三方が山に囲まれつつも、南側に開かれた眺望の良いロケーション。かつて野球場だったこの敷地は、周辺と比較すると不自然なほどに平たい。この場所に、幾何学的に形作られ、機械的に配置された建築が存在することは、自然の力を対比的に引き出すことができると考えた。



Toward the sky

樹下英明

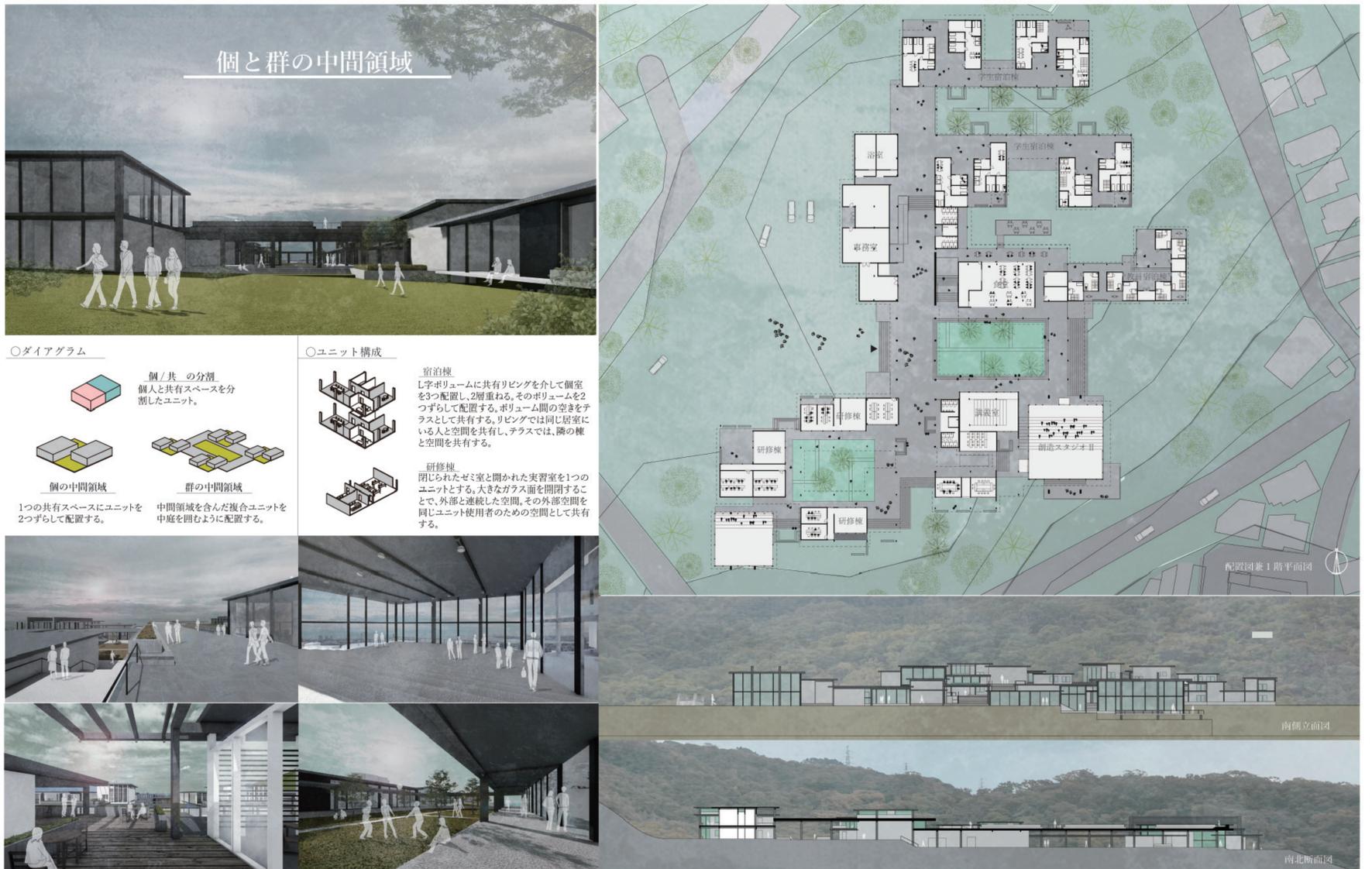
そらを見ることはあるだろうか。大学生活は将来に向かっていく途中でありながら忙しく目の前のことでいっぱいになってしまい、そらを見る機会は少なく窮屈な生活を送っているだろう。そこで、そらを見るだけでなく向かっていく体験を提供するセミナーハウスを計画する。



個と群の中間領域

田中良征

セミナーハウスは自分の居場所を作り、他人との様々な「中間領域」において交流が行われる。小さな中間領域はよりプライベートに少数で共有する。大きな中間領域は一定の距離を保ちながら多数で共有する。このように中間領域に性格を付けて配置計画を行った。



*©OpenStreetMap contributors (https://www.openstreetmap.org) のデータを加工して作成

RE:PARK ~既存の公演を保存・改修するセミナーハウス~

松嶋祐希

福祉施設利用者や近所の子供たちがこれまで通り公園としても利用できるセミナーハウス。公園を保存・拡張させつつも共存することで、新たな研修施設の在り方を提案。眺望が良く広い敷地は、皆の居場所になる。

